

雅號の由來



私は水仙の花が好きでございました。それで、昔雅號といふものゝ流行つた時分、見様見真似に水仙といふ名を用ゐて居ました。それが、友達などに手紙を書いたりする時、いたづらに水仙の間にのゝ字をはさんで、水の仙などゝ書いて居りました。いつかそのの字が、本字の野に變つて、水野仙子となつて了まいました。だから、名ばかりでなく、姓も嘘なんでございます。今時雅號を用ゐるのは、頭の古い人に限るんださうでございますね。どんな作用かしろなければ、私のやうなもので、本名にしたら頭が新らしくなるかしら。

底本…「時事評論」大正三(1914)年一月三日

入力…小林 徹

公開…令和七(2025)年九月二十七日

[水野仙子作品年譜へ戻る。](#)